

みずほCustomer Desk Report 2020/06/12号 (As of 2020/06/11)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.00 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.01	1.1368	121.68	1.2710	0.6968
SYD-NY High	107.23	1.1404	121.89	1.2752	0.7003
SYD-NY Low	106.58	1.1289	120.66	1.2587	0.6840
NY 5:00 PM	106.86	1.1299	120.77	1.2602	0.6855

NY DOW	25,128.17	▲ 1,861.82	日本2年債	-0.160	0.00bp
NASDAQ	9,492.73	▲ 527.62	日本10年債	0.005	▲ 1.55bp
S&P	3,002.10	▲ 188.04	米国2年債	0.200	2.79bp
日経平均	22,472.91	▲ 652.04	米国5年債	0.319	▲ 0.47bp
TOPIX	1,588.92	▲ 35.79	米国10年債	0.665	▲ 7.04bp
シカゴ日経先物	21,715.00	▲ 1,155.00	独10年債	-0.4145	▲ 8.35bp
ロンドンFT	6,076.70	▲ 252.43	英10年債	0.1960	▲ 7.20bp
DAX	11,970.29	▲ 559.87	豪10年債	0.9310	▲ 9.60bp
ハンセン指数	24,480.15	▲ 569.58	USDJPY 1M Vol	7.30	▲ 0.06%
上海総合	2,920.90	▲ 22.86	USDJPY 3M Vol	7.18	0.23%
NY金	1,739.80	19.10	USDJPY 6M Vol	7.57	0.23%
WTI	36.34	▲ 3.26	USDJPY 1M 25RR	-1.80	Yen Call Over
CRB指数	134.90	▲ 4.32	EURJPY 3M Vol	9.23	0.42%
ドルインデックス	96.73	0.77	EURJPY 6M Vol	9.17	0.39%

東京	東京時間は107.01レベルでオープン。仲値にかけて小幅に上昇するも、前日のFOMCの結果を受けたドル売り圧力が強いことからその後は107円下で上値重く推移。午後にはまとまったドル買いが入り、107.23まで上昇するも、上値を追う展開にはならず107.10レベルでクロス。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、107.10レベルでオープンし、東京時間で見られたドル売りが一巡した模様。107円を挟んで狭いレンジで推移し、107.09レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2682レベルでオープン。前日のFOMCの結果を受けて欧州株式指数や米株式指数先物がマイナス圏で推移するなか、ポンド売りが先行し、一本調子で下落。1.2654レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、前日のFOMCで2022年末までゼロ金利維持や米景気の先行き不透明感を強調したことを受けて、ドル売り優勢の流れの中106円台に沈む。アジア時間に買いが持ち込まれ107.23まで上昇するが、世界的株安が嫌気される中、買いは長続きせず、106.80をつけ、107.09レベルでNYオープン。朝方は米国の新規失業保険申請件数や継続受給者数が発表され、予想範囲内の結果にドル円の反応は限定的だったが、米株先物の大幅下落や米金利低下を受けてリスクオフの流れが強まる中、再び106円台に沈む。その後、寄り付き後のダウ平均が1000ドル超の下落幅を見せる中、円買い優勢となり、一時106.58をつける。しかし、リスクオフが強まる中、ドル買いも強まっており、この水準で下げ止まる。午後は資源国通貨やエマージング通貨に対するドル買いが、ドル円にも波及し、106.80近辺まで反発。終盤にかけてダウ平均が1900ドル超安となるも、ドル円は小動きとなり、結局、106.86レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは前日のFOMCを背景にドル売りが強まる中、1.14台乗せを試す展開となるも、利益確定の売りや、欧州株の軟調推移を嫌気したユーロ売りに圧迫され、1.13台半ばに押し戻され、1.1356レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、1.13台後半でもみ合い、1.1404まで上昇する場面もあったが、次第にリスクオフのドル買いが強まり、下落が加速する。ユーロ円の下落も重なり、一時1.1300を下抜け、1.1289をつける。売り一巡後、小幅値を戻し、1.1299レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・松本 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
6月11日	21:30	米	PPI (前月比/前年比)	5月 0.4%/-0.8%	0.1%/-1.2%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	- 1542k	1550k

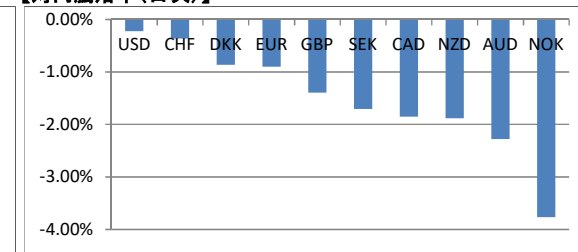
【本日の予定】

Date	Time	米	Event	予想	前回
6月12日	13:30	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	4月 -	-9.1%/-14.4%
	15:00	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 -15%/-19.3%	-4.2%/-8.2%
	15:00	英	製造業生産(前月比/前年比)	4月 -15.6%/-19.9%	-4.6%/-9.7%
	18:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	4月 -18.5%	-11.3%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・速報	6月 75	72.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 コロナウィルスもBLM運動も

FOMCを通過してドル/円相場は一時106円台に突入いたしました。会合では2022年末までゼロ金利が維持されることが示唆されましたのでドル金利の低水準は今後も継続しそうです。また、米国債やMBSの買い入れも継続することが決定されましたので、昨日は大幅下落となった株式市場の調整も一時的なものに止まると見ております。

一方で、メインストリートに目を向けてみますと、米国では人種差別に対する抗議活動、BLM運動が注目を集めております。個人的な体験ですが、高校生時代に黒人の家庭に3カ月ほどホームステイしていたことがあります。ビジネスで成功して白人の多い住宅地に生活しておりましたが、ピクニックパーティーや家族の集まる感謝祭となると黒人オナリーの集会が多く、人種の壁の存在を肌で感じ驚いたことを思い出します。

コロナウィルスによる経済的ダメージが懸念された金融市場では大きな混乱も長くは続かず、過去最短のリセッションとも既に揶揄されるほど、株式市場を中心に楽観ムードが漂っているように見えます。一方で、ここ2~3カ月の間に2,000万人もの人が職を失ったことを考えると多くの人は生活不安を抱えている可能性が高いです。人種だけではなく、ウォールストリートとメインストリートとの壁もまた厚いようです。

人種の壁、職業の壁、国境の壁と壁・壁・壁だらけのアメリカですが11月には大統領選も控えております。昨晚のVIXの上昇、株価の大幅下落に見られるような相場のスイングがこれから秋にかけて度々見られても驚きはなさそうです。(尾身)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	浅見	大谷	谷舗
ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13